

# 慢性硬膜下血腫クリニカルパス

様

病日	手術前	手術後	手術後1日目	2日目	3日目・退院
日付	/	/	/	/	/
観察	術前・術後・(夕方)に検温します。 		午前・午後・夕方に検温をします。 		午前・夕方に検温します。 
	意識状態・手足の動き・瞳の大きさも確認します。		頭の管から抜けてきている血液の量・性状を観察します。		起床時熱を測ります。 
安静	特に制限はありません。 	手術後はベッド上での安静になります。頭を上げることできません。食事やトイレの時は看護師を呼んでください。 	管が抜けたら特に制限はなくなります。 		
食事	絶飲食です。 	術後2時間より飲食できます。			
清潔			体を拭きます。 	頭をぬらさないようにシャワーを浴びることができます。 	
排泄	頭の管を看護師が止めてからトイレに行きます。ナースコールで呼んでください。 		頭の管が抜けたらトイレに行くことができます。 		
診察	毎朝医師の回診があります。ベッドでお待ちください。 				
処置			頭のCTをとった後、医師が管を抜き、そこを縫います。		外来で抜糸をします
検査	頭のCT・胸のレントゲン・心電図・採血を行います。    		管を抜く前に頭のCTをとります。 		採血を行います 
薬物療法	手術室に行く前に病棟で、水分補給の点滴をします。手術前に抗生剤の点滴をします。今まで飲んでいた薬は看護師へ渡してください。 		夕方抗生剤の点滴を行います。水分補給の点滴は翌日まで行います。 	朝・夕方に抗生剤の点滴を行います。 	
			食事を食べた量により、水分補給の点滴の量が変わります。8割以上食べられたら終了となります。今まで飲んでいた薬を再開するかどうか医師に確認し、看護師が伝えます。		
説明	病棟内の構造と入院生活上の注意点を説明します。看護師が手術について説明します。 	抜糸までの注意点について説明します。		退院後の外来受診の説明と予約券を渡します。	
指導			手術後の抗生剤の点滴について薬剤師が説明します。 		
目標	手術の必要性が分かる。不安なことが伝えられ安心して手術が受けられる。	頭の管が抜けないように安静が保てる。手術後の苦痛が伝えられる。		頭のガーゼがとれないよう注意する。抜糸までのシャワーの仕方がわかる。再び、症状が出てきた時の対処の仕方がわかる。	
		たまっていた血液が抜けて頭の管が抜ける。食事を食べることができ点滴が終わる。			